

2003 年度入学者選抜個別 (第 2 次) 学力検査問題

数 学
(医 学 科)

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、全部で 16 ページあります。
3. 解答用紙は、問題冊子と別に印刷されているので、誤らないように注意下さい。
4. 解答用紙には、必ず解答の過程と結果を記入下さい。
5. 解答は、必ず解答用紙の点線より左に記入下さい。
6. 下書は、問題冊子の余白を使用下さい。ただし、切り離してはいけません。
7. 各解答用紙には、受験番号欄が 2 か所ずつあります。それぞれ記入を忘れないこと。
8. 解答用紙は、記入の有無にかかわらず、机上に置き、持ち帰ってはいけません。この冊子は持ち帰り下さい。
9. 落丁または印刷の不鮮明な箇所があれば申し出下さい。

下 書 用 紙 （切り取ってはいけない）

1

以下の各問いに答えよ。

- (1) 次の条件 (a), (b) を同時に満たす複素数 z をすべて求め、複素数平面上に図示せよ。ただし $\bar{z}$ は z の共役複素数を表す。

(a) $|z| \leq 1$

(b) $z + \bar{z}$ および $z\bar{z}$ はともに整数。

- (2) 次の条件 (c), (d) を同時に満たす点 $P(p, q)$ をすべて求め、座標平面上に図示せよ。

(c) p, q は整数。

(d) $|z| > 1$ を満たす任意の複素数 z に対して $z^2 - pz + q \neq 0$ が成立する。

2

M を逆行列を持つ 2 次の正方行列とする。数列 $\{x_n\}$, $\{y_n\}$ を

$$\begin{pmatrix} x_0 \\ y_0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} x_n \\ y_n \end{pmatrix} = M \begin{pmatrix} x_{n-1} \\ y_{n-1} \end{pmatrix} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定義し, (x_n, y_n) を座標とする平面上の点を P_n とする。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) P_1 が P_0 と異なるとき, すべての自然数 n に対して P_n は P_{n-1} と異なることを示せ。
- (2) 定数 θ を用いて $(x_1, y_1) = (\cos \theta, \sin \theta)$, $(x_2, y_2) = (\cos 2\theta, \sin 2\theta)$ と表されているとき, すべての自然数 n に対して

$$(x_n, y_n) = (\cos n\theta, \sin n\theta)$$

となることを示せ。

- (3) $A(1, 0)$, $B\left(\frac{1}{2}, \frac{\sqrt{3}}{2}\right)$ とし, C, D, E, F をそれぞれ

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OC} &= \overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}, & \overrightarrow{OD} &= -\overrightarrow{OA} \\ \overrightarrow{OE} &= -\overrightarrow{OB}, & \overrightarrow{OF} &= \overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OB} \end{aligned}$$

を満たす点とする。ここで O は原点を表す。以下の条件 (a), (b), (c) がすべて成立しているとき, 行列 M を求めよ。

- (a) すべての自然数 n に対して, P_n は A, B, C, D, E, F のいずれかと一致する。
- (b) P_1 は B と一致する。
- (c) P_6 は A とは異なる。

3 正の定数 a, b に対して、曲線 C を媒介変数 t を用いて次式で定義する。

$$C: \quad x = a \cos^3 t, \quad y = b \sin^3 t \quad \left(0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}\right)$$

このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) 曲線 C 上の点 $P(a \cos^3 \theta, b \sin^3 \theta)$, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$, における C の接線と x 軸および y 軸との交点をそれぞれ Q, R とする。このとき線分 QR の長さ $l(\theta)$ を求めよ。
- (2) $\frac{d}{d\theta} \{l(\theta)\}^2$ を求めよ。
- (3) 曲線 C の長さを求めよ。

下 書 用 紙 （切り取ってはいけない）

下 書 用 紙 （切り取ってはいけない）

下 書 用 紙 （切り取ってはいけない）

